

シリーズ

「私の森語り」 もりかた

森林・林業との関わりの中で、
様々な課題に挑戦されている方
の取組を紹介します。



「山を愛する人材を育てる」



白鳥林工協業組合
代表理事
みやぞえ
美谷添 里恵子

■自己紹介

平成二十一年に先代の理事長が若くして亡くなり、現場の手伝いしか経験のない私が会社を任せられることになりました。何とか会社を繋いで存続させたい、と気が付けば十五年が経っていました。

地域の産業として、森林整備、素材生産、製材、木材加工と山と共に生活をしています。森林を育てて生かす仕事「伐って、使って、植えて、育てる」全ての工程に携わる仕事をしています。

■活動内容

我が社は、平成七年に県下で初めて高性能林業機械を導入して「車両系作業システム」を取り入れました。しかし、岐阜県は急峻で尾根や谷が入り組んだ地形が多いため、最近では「架線系の作業システム」の必要性を痛感しています。架線集材には特殊な技術が必要なため、若い技術者が日々研修



架線集材技術習得のための研修

を重ねて技術を習得するよう努力しています。今後は、必ず架線による集材が必要になってくると思っています。

■メッセージ

森林技術者の育成、確保は長年の重要課題ですが、平成十五年度から始まった、国の「緑の雇用」事業にはいち早く手を挙げて、第一期生から現在まで多くの研修生を受け入れ、現在働いている十一人の林業従事者は全員が緑の雇用の研修生です。他にも、毎年岐阜県森林文化アカデミーの学生さんや地元高校からインターンシップを受け入れ、多くの学生に林業を体験し、将来地元の山を守ってくれる人材を育てています。また、夏



新しい生命の植え付け

休みには、近くの子供たちに製材で生じた端材を無料で提供し、木工作品を作ってもらっています。美しい自然に囲まれている私たちの故郷、この素晴らしい自然を守り、地元で生きぬき、林業を次世代に繋いでいくことを目指し、今後も山を愛する人材を育てていきたいと思っています。



インターンシップの受け入れ

■連絡先

岐阜県郡上市白鳥町大島

字向野一五四六

白鳥林工協業組合

<http://www.shiratori-rinko.or.jp>

